

霧島連山の中心に位置するえびの高原。火山や湖、森が豊かな大自然のリゾートで、自然に戻り現代生活のストレスから解放されましょう。海拔約 1,200m で、南九州の平均より 6℃ほど低い平均気温によって、夏でも 30℃を超えることは滅多にありません。冷涼な気候により、極南では珍しい植物もこの盆地状の高原では育ちます。

動植物

この地域は特に「ミヤマキリシマ」とよばれる 5 月下旬に咲くツツジと、8 月下旬～10 月半ばにかけてみられるススキで有名です。自然の中を歩く間サウンドトラックを奏でるのは、アオゲラやカッコウの鳥類。野生の鹿もたくさんみられますが、生息域で鹿を刺激しないようご注意ください。また、餌を与えるのも禁物です。

施設

えびのエコミュージアムセンターには、高原の動植物を説明する展示に加え、ハイキングやイベントに関する情報など、高原の散策ルートを決めるのに必要なものが揃っています。一泊して満天の星空を眺めたい方には、近くにレストランと日帰り温泉施設が揃ったホテルに加え、広いキャンプ場があります。駐車場の横には足湯もあります。

登山

この地域には様々なレベルのルートが点在しており、家族連れにうれしい短いコースや山の奥深くまで行く中・長距離トレッキングコースもあります。半日自然散歩コースでは高原の北側に向かい、3 つの湖の周りを進みます。他にも、2 時間ほどで帰ってこられる短めのコースもあります。

山と湖

霧島連山の高みに鎮座するえびの高原は火山に囲まれており、最高峰の韓国岳は海拔 1,700m にもなります。地域には火山性クレーターのカルデラ湖も見られ、中でも有名なのがコバルトブルーの不動池です。